

真岡市生涯学習推進基本構想(2020~2029) 基本計画(前期計画:2020~2024) の策定にあたって



真岡市長 石坂 真一

真岡市が目指す「生涯学習社会」とは、「いつでも、どこでも、だれでも、生涯にわたって、主体的に学び、豊かな人生を送ることができ、その成果が適切に生かされる社会」です。

真岡市は、今に至るまで市民と行政が協働して、さまざまな施策を展開してまいりました。来年度からは、これまでのまちづくりの方向性を継承するとともに、多様化するニーズや社会の変化に対応し、新たな時代に向けて、市民と行政が一体となったまちづくりを実現するため「真岡市総合計画2020-2024」に基づき、すべての人が「真岡に住みたい」、「真岡で働きたい」、「真岡で子育てしたい」と思えるような将来都市像「JUMP UPもおか～だれもが“わくわく”するまち～」を目指してまいります。

市民と行政が一体となったまちづくりを実現するためには、市民一人一人が、学習を通して得た知識や技能を、積極的に活用し、地域社会の様々な場面に幅広く生かしていくことが重要です。そのような生涯学習社会を築くことが、ひいては真岡市のまちづくりにつながっていくものと考えています。こうした観点から、「真岡市生涯学習推進基本構想・基本計画」を新たに策定いたしました。

この基本構想・基本計画は、市民と行政が連携を図りながら、生きがいを持ち豊かな生活を送ることのできる生涯学習社会を築いていくための指針となっておりますので、市民の皆様にも積極的な参加をお願いいたします。

最後に、策定にあたりご意見をいただきました真岡市生涯学習推進会議の委員の皆様をはじめ関係各位に心から感謝申し上げますとともに、生涯学習社会の実現に向けた、より一層のご活躍をご期待申し上げます。

令和2年3月